

六角橋教会

月報

牧師 加山 真路
牧師 佐藤 栄一

7 2021

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋1の26の8

TEL 045(432)0694 FAX 045(432)0194

(7月の標語)

「執り成しの現場」(ローマ 8の26)
聖書には「執り成す」人の姿が描かれて
います。旧約のアブラハムやモーセ、
そして預言者たち。皆、神様と人の間
を取り次ぐ「仲介者」として、自分の人
生をささげました。新約では、イエス様
が神と人との間に立ち、十字架につけら
れ、「父よ、彼らをお赦し下さい」と、
命を注ぎ出すようにして執り成し、祈ら
れました。

この「執り成しの祈り」は、自分以外
の人のための祈りです。家族や友人、教
会の人。更には世界の苦しむ人々のため
になど、その対象は広がっていきます。
そして使徒パウロは、関わった教会の人
々にたくさんの手紙を書きました。そ
れは「執り成し」そのもの。人と人、そ
して神と人との間で、様々な問題に答
え、祈っています。パウロは言います。
《「**霊**」自らが、言葉に表せないうめき
をもって執り成してください。》と。
神と人、さらに人と人の間に立つ執り
成しの現場では、こうして「**霊**」自らが
働きかけ、弱い私たちを用いて、神の業
がなされていくのです。
日々の暮らしが、その現場なのです。

14	第1週(当番) 石松さやか姉、岡本和子姉、宇都宮アリス姉	
4日	聖日礼拝 前11.00 (説教) 佐藤栄一牧師 (奏楽) 鈴木まり子姉 *献財日(夏期特別献金開始) *隠退教師を支える献金の日	日曜学校 前 9.00 7月定例役員会 後 1.00 ※ <u>新年度組織会を兼ねて</u> 臨時責任役員会 役員会後
5月		
6火		
7水	祈祷会(佐藤牧師) 前11.00	
8木		
9金		
10土		

15	第 2 週 (当番) 川口敦子姉、成島喜美子姉、(未定)	
11日	聖日礼拝 前11.00 (説教) 加山真路牧師 (奏楽) 大東敬子姉	日曜学校 前 9.00
12月		
13火		
14水	祈禱会(加山牧師) 後 7.00	
15木		
16金		
17土		

16	第 3 週 (当番) 飯沼房代姉、(未定)、岡村真由美姉	
18日	聖日礼拝 前11.00 (説教) 佐藤栄一牧師 (奏楽) 高殿成子姉	日曜学校(夏休み前最後)前 9.00 8月定例教師会 礼拝後 教会施設維持委員会(2) 礼拝後
19月		
20火		
21水	祈禱会(佐藤牧師) 前11.00	
22木		
23金		
24土		

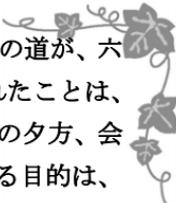
17	第 4 週 (当番) 田村 緑姉、泉川かなえ姉、(未定)	
25日	聖日礼拝 前11.00 (説教) 加山真路牧師 (奏楽) 町田佐和子姉	日曜学校 (休校)
26月~27火		
28水	祈禱会(黙想と祈り) 後 7.00	
29木		
30金		
31土		

18	第 1 週 (当番) 市川 明兄、三ヶ尻晃子姉、(未定)	
1日	聖日礼拝(平和聖日) 前11.00 (説教) 加山真路牧師 (奏楽) 秋葉けい子姉 *献財日 *隠退教師を支える献金の日	日曜学校 (休校) 8月定例役員会 後1.00 ※今年も、8月の集会 「平和を考える」は中止。
2月		
3火		
4水	祈 禱 会(加山牧師) 前11.00	
5木		
6金		
7土		

19	第 2 週 (当番) 瀧本七菜恵姉、武田幸枝姉、登道孝浩兄	
8日	聖 日 礼 拝 前11.00 (説教) 佐藤栄一牧師 (奏楽) 川 嶋 真 理 姉	日曜学校 (休校)

新型コロナウイルス感染症に対して、首都圏は「まん延防止等重点措置」が適用中ですが、リバウ
 ンドの傾向から、「さらに延長」という声も聞こえます。さらに、7月23日からオリンピックが始まった場
 合、どのような影響が出るか、大変懸念されます。

教会としては、「分散礼拝」(レベル4)を継続しながら、一層慎重な姿勢で対応しますが、大きな変更が余儀なくされる事態となれば、連絡網・印刷物・HPで直ちにお知らせします。

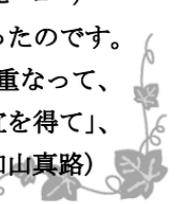
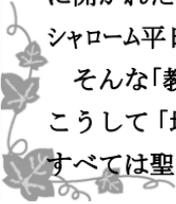


「教会通り」——商店街から六角橋プールに抜ける教会前の道が、六角橋自治連合会主催「道の愛称プロジェクト」で正式採用されたことは、すでに週報（5/2 No. 5）でも紹介しましたが、先日（6/20）の夕方、会長を含む選定委員4名が教会を訪ねてくださいました。主たる目的は、今年中に「教会通り」という銘板を設置する場所の確認。

「昔からあることは知っていても、中に入るのは初めて」という方もいらっしやいました。「広いですね!」「いやー、びっくりしました。日曜日だけしか使わないなんて、もったいない!」「お葬式が急に入ったりもしますから、いざという時にはいつでも、ということもあって…」と話しながら会堂を案内。その後は、1階ホールで懇談のひと時。

地域の方たちもいろんなアイデアをお持ちで、話し合いは1時間半に及びました——「避難経路に“愛称”を付けるためのプロジェクトですが、これが防災だけで終わってはいもったいない」という、連合会長の強い思い。登下校中の子どもの見守り（たとえば教会も加わる「子ども110番」）から、高齢者（とくに認知症の方）の見守り、そしていくつにも枝分かれしている六角橋商店街全体との連携まで、防災という共通の課題を通して新しい“街づくり”を考えていきたいというヴィジョン。そのために、たとえばクリスマスには「教会通り」銘板を中心にイルミネーションで道沿いを飾れないか、「ここに六角橋教会がありますよ」と知ってもらうために講演会やコンサートやバザーはできないか、時には、連合会の打ち合わせを教会でできないか、などなど…。

「防災から街づくりに」——これに教会も関わるのは、「加山牧師のプロジェクト」とよく言われますが、じつは違います。すでに2005年度（私が主任になる前!）の「教会の将来を考える委員会」では、“地域に開かれた教会”がテーマの1つに。その試みとして「コーヒーコーナー・シャローム平日版」を開き、外に向けて看板を出したこともあったのです。



そんな「教会の願い」が、近年激甚化の続く災害への備えと重なって、こうして「地域の願い」とつながったわけです。まさに「時宜を得て」、すべては聖霊（神様の風）の「し・わ・ざ」なのです♪（加山真路）